鹿児島県公立高校の入試選抜方法

■公立高校推薦入試選抜方法

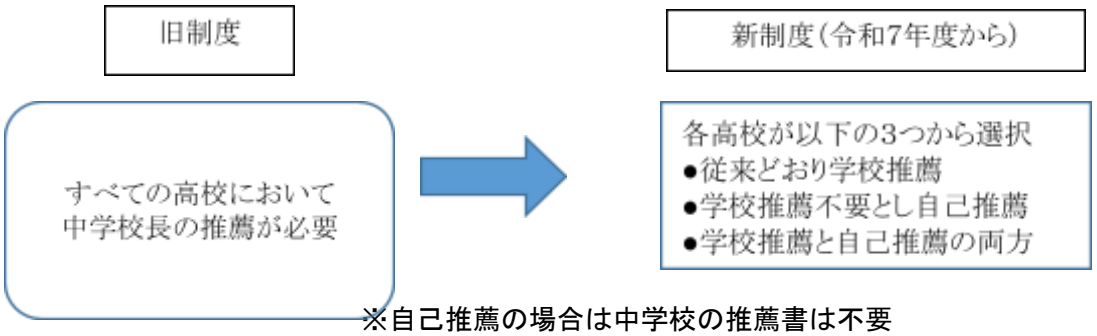
1. 鹿児島県公立高校推薦入試の現状

推薦入試は、各中学より学校長の推薦を受けた者や自己推薦者に対して、一般入試のような学力検査での選抜ではなく、中学3年間の学習や活動状況、面接、作文などを総合して評価する制度です。部活動や生徒会活動など学力検査でははかれない中学時代の取り組みを積極的に評価します。推薦入試は、普通科一般を含む全ての県立高校で実施されています。推薦の募集定員も、普通科で定員の10%以内、その他の総合学科や専門学科では各高校それぞれの特色に応じて設定することになっています。今年度の鶴丸高校、甲南高校などのトップ高は最大の10%枠の32名の推薦入学者定員となっています。

基本的に一つの中学校から同じ高校に推薦される生徒は、事前に担任の先生に申し出ておく必要があります。まれに学校側から話をいただくこともありますが、原則的に自らの申し出となります。その後、担任の教師が内申点・日頃の学校の生活態度・課外活動等を考慮して推薦し、最終的に中学校全体で決定されます。学力検査が免除されるので希望する生徒が多く、かなり競争率の高い困難な試験になっています。

また、令和7年度から、推薦入試において「自己推薦」による出願が可能になりました。上記のような中学校全体での決定が無く、自己の特徴や長所を最大に生かせると考える高校への、より積極的な出願ができるようになりました。定員については、現行どおりとなります。

公立高校入学者選抜における推薦入試の変更点



※自己推薦の場合は中学校の推薦書は不要
ですが、必ず中学校を通して出願する。

令和8年度　鹿児島県公立高校推薦入試日程（参考用）

県内「学区外許可申請」および 「学区指定申請」の市町村教委締切	令和7年12月5日（金）
入学願書提出期間	令和8年1月20日（火）～1月26日（月）正午まで
面接・作文等	令和8年2月3日（火）
合格内定通知	令和8年2月9日（月）
合格者発表	令和8年3月12日（木）

※令和9年度は2月2日（火）に推薦入試が行われ、合格者発表は3月12日（金）です。

2. 推薦入試の選考方法と内容

【選考方法】 面接・作文・実技試験などの結果と、中学校から提出される調査書や推薦書などの書類とを総合して選考されます。内申点が高くないと推薦入試での合格は難しくなります。

【試験内容】 面接・作文・実技で実施

【面接について】

・志願者全員に対して実施される。
・形式には、個人面接とグループ面接がある。時間は5～10分程度。
・個人面接…受験生1人に対し、数名の面接官で面接する方法。
・グループ面接…受験生を何人か（3～6人程度）のグループに分け、全員に同じ質問をしたり、一つのテーマに絞り意見を述べさせたりする方法。

【作文について】

・一部の学科やコースで実施。各学校とも、字数は600字～800字。時間が45～60分。同じ学校でも、学科、コースによってテーマが異なる場合もある。作文では、思考力・独創性・人柄・意欲など、受験者の人物全体が見られるとともに、国語力も見られている。どんなテーマに対してでも、自分の意見を持ち、それを表現する力が必要である。

【実技について】

・一部の学科やコースで実施。過去に実施された内容には以下のようなものがある。
・英語科コース：英語のリスニング
・体育コース：50m走や走り幅跳び、ハンドボール投げ等基礎実技や専門種目など
・美術科コース：デッサン、水彩画など
・総合学科：自己表現など
・服飾デザイン：ミシン縫い、手縫い、アイロンがけなど

3. 面接での質問について

志望動機	その学校を選んだ理由。自分の言葉で伝えるのがポイント。
将来の希望	相手がイメージしやすいようにできるだけ具体的に。理由も添えて。
高校での抱負	勉強・クラブ活動・文化祭などの学校行事など具体的に。
部活動	部活動名・ポジションや役割など活動を通してどんなことを学んだかを述べよう。
その他	最近のニュースで最も印象に残ったこと。趣味。特技。長所と短所について。中学生活で最も印象に残ったことなど。

4. 過去の作文・実技などの試験のテーマ(課題例)

高校名	課題(テーマ)	字数	時間
鶴丸	Ⅰ.「対話と対論の違い」についての文章を読んで ①対話と対論の相違点を100字以内でまとめなさい ②基礎体力について、忍耐力以外に2つ挙げ、その理由・その力を鶴丸高校でどのように活かしていきたいかを書きなさい	①100字 ②500字	50分
	Ⅱ.複合問題 ・これからはAIが活躍する社会になっていくが、それを踏まえてこれからどのような力を身につけたいか ・絵(ゴッホ作品:アルルの跳ね橋)をみて印象を答える	―	50分
鹿児島中央	・環境問題を一つ挙げて、自分が何をしていきたいか、周りにどのように働きかけていきたいか	―	60分
	・他者とコミュニケーションをとる上で大事なことは何か。また、どのような方法があるか具体的な方法を一つ挙げ、その短所と長所にも触れてあなたの考えを書きなさい	320字 ～400字	60分
玉龍	・中学校生活(勉強、部活道、生徒会活動等)で創意工夫をして喜んだ事は、どんなことか	400字	60分
武岡台	・鹿児島県は2025から2075年までの50年間で26.4%人口が減少すると推定されていますが、あなたの意見を、身の回りで起こりうることを考えて書きなさい	400字	50分
	・日常生活の中で「世界と自分はつながっている」と感じた事例を書きなさい。また、それを踏まえて高校生活で学びたいことを書きなさい	400字	50分

面接　質問　例　　※甲南や武岡台はプレゼンテーション型式。

高校名	推薦種別	面接テーマ
鶴丸	奉仕活動	推薦内容の奉仕活動について、課題や問題点があったときにはどのようにしてきたか、また、高校ではどう改善していきたいか。
	全般	本校のアドミッション・ポリシーに多様性を享受し、他者と共同して、何事にも目的意識を持って取り組む生徒を求めるとありますが、あなたは中学校生活で何を身につけ、高校生活では何を鍛え将来に活かしていきたいか。
	全般(生徒会)	あなたは生徒会環境部部長として活動してきた中でどのような困難に直面しどのように乗り越えましたか、また、あなたは本校にどのような印象を持っているか。
	学力(英語)	英語で失敗した経験やうまくいかなかった経験をした時、何を考え、どのような行動をしてきたか。また、その経験を今後どう活かしていきたいか。
甲南	全般	中学校の総合的学習で印象に残っていることを教えてください。
		高校の探究活動であなたが取り組みたいことを教えてください。
鹿児島中央	全般	地域の活動は何に参加しましたか。また、地域の活動で人と関わるときにはどのようなことを大切にしましたか。
	全般	将来の目標とそのためにがんばっていることは何ですか。
	スポーツ	陸上の大会に出るときに気をつけていることは何ですか。
玉龍	スポーツ	普段の生活で心がけていることを教えてください。
武岡台	全般(生徒会)	生徒会活動で大変だったことは何ですか。また、高校でどんな生徒会活動をしたいですか。

※各高校とも作文課題だけでなく面接(実技含む)もおこなわれます。普段より、高校生活における自分のイメージや将来の夢(大人像)をしっかり持っていくことも重要です。

■一般入試選抜方法…学力検査と調査書の2本立て

選抜方法は、「調査書」の「学習の記録」の換算点と、国語・理科・英語・社会・数学の5科目について行う「学力検査」の成績との相関、および、「調査書」の「総合的な学習の時間の記録」・「行動の記録」・「出欠の記録」・「総合所見及び指導上参考となる諸事項」等を総合して行います。

- ●「調査書」の「学習の記録」 第3学年の記録を点数に換算（450点満点）
- ●「学力検査」を行う5教科……各10点×5＝50点
- ●「学力検査」を行わない必須の4教科……各100点×4＝400点
- ●「学力検査／国・理・英・社・数」 ……各90点×5＝450点満点（時間は各50分）

※「調査書」の「学習の記録」とは、いわゆる「通知表」を元に作成されます。各中学校は高校に対して調査書のもととなる指導要録の評定を10段階評価（絶対評価）になおしたものを提出することになります。「総合所見及び指導上参考となる諸事項」には、中学校担任所見が記載されることになりますので極端な問題行動などあると大きな減点要素になる恐れがあります。とはいえ、学力検査と調査書を総合して選抜する方法は、今までの入試結果をみると、得点開示も実施されており、生徒たちから集約したデータを比べてみた場合、上位進学校ではほとんど有名無実であり、定員枠の大半が「学力検査」重視で決定されていると考えられます。

令和8年度　鹿児島県公立高校一般入試日程（参考用）

県内「学区外許可申請」および「学区指定申請」の市町村教委締切	令和7年12月5日（金）
入学願書提出期間	令和8年2月5日（木）～2月12日（木）正午
出願倍率公表(教育委員会HPより)	令和8年2月13日（金）
出願変更期間	令和8年2月16日（月）～2月20日（金）正午
最終倍率公表(教育委員会HPより)	令和8年2月24日（火）
学力検査	令和8年3月4日（水）　国語・理科・英語 令和8年3月5日（木）　社会・数学（面接）
合格者発表	令和8年3月12日（木）

※令和9年度は3月3日（水）、4日（木）に一般入試が行われ、合格者発表は3月12日（金）です。

※ (注)「面接」を実施する学校および学科では、実施学科の志願者全員を対象に、2日目の「学力検査」終了後に面接を実施します。

◎入学出願について

【出　願】「入学願書」の提出は、1人1校1学科に限ります。ただし、学科併願による募集を行う高校については、複数の学科に出願できます。

※鹿児島女子高校への出願をされる際は、学科併願に制限がありますので、ご注意ください。

【出願変更】出願変更は、1人につき**1回認められています。**

■一般入試問題の難易度について

―令和8年度の5教科合計の平均点は216.3点（各90点×5＝450点満点）―

毎年、鹿児島県教育委員会が公立高校の全受検者の得点を集計し、全受検者の平均点を発表しています。詳細については、入試結果総評に平均点推移を記載しておりますので、ご参照ください。

■第二次入学者選抜方法・・・面接・作文と調査書等で決定

「第一次入学者選抜」の合格者が募集定員に満たない学科（開陽高は除く）において実施する入試で、公立高校で学びたい意思を持つ生徒に再度受検の機会を提供するものです。再度の学力検査は行わず、「調査書」の記録、志願者全員に行う「面接」「作文」および第一次入学者選抜における「学力検査」の結果等を総合して合格者を決定します。実施学科と募集枠については、「第一次入学者選抜」の合格者発表当日に発表します。出願できる者は、鹿児島県の公立高校を受検し合格しなかった者（ただし、同一校の同一学科には出願できない。また、私立高校に合格し入学手続きをした者は除く）および鹿児島県公立高校の第一次入学者選抜に出願したが「学力検査」を受検できなかった者とします。

令和年度　鹿児島県第二次入学者選抜（参考用）

入学願書提出期間	令和8年3月17日（火）～3月18日（水）正午まで
面接・作文等実施	令和8年3月19日（木）
合格者発表	令和8年3月23日（月）午後2時以降

※令和9年度は3月19日（金）に面接・作文等が実施されます。合格者発表は3月23日（火）です。

後輩達への激励記

「伝えたいこと」

鶴丸高校　Y・S　さん（鶴丸高校、早稲田佐賀高校、鹿児島高校、樟南高校に合格）

私が高校受験勉強を通して伝えたいことが四つあります。

一つ目は目標を持つことです。授業の度にある小テストで毎回満点を取る。先生方が教えてくれる内容をノートにメモする。目標の内容はとても小さいことでよいのです。一つでも目標を持つことで勉強に対するモチベーションが上がります。そして、勉強が楽しくなります。

二つ目はテストの訂正ノートをつくることです。間違えた問題の正しい答えを赤ペンで書くだけでなく、その間違いに関することをそのノートにまとめることで、その単元を新しく学習したり、自分の苦手分野を理解したりすることができます。また、そのノートをテストの前に見直すだけで自信がつきます。

三つ目は勉強をしていて楽しかったり、嬉しかったりしたことを思い出すことです。私は宿題や予習、復習を頑張って小テストで満点を取り続けたことをよく思い出して、勉強に取り組んでいました。そのおかげで、勉強が楽しいと感じ、集中して取り組むことができ、より多くのことを学ぶことができました。

最後に周りの人への感謝を忘れないでほしいです。今、こうして英進館に通って、勉強できているのは保護者のおかげです。今、英進館でたくさんのことを学ぶことができているのは、それらを教えてくれる先生方のおかげです。受験と戦っているのは自分だけでなく、周りの人みんなです。その感謝の気持ちを自分の自信に繋げていってください。本当にありがとうございました。